

1 がん予防

1 たばこ対策

○ たばこ対策の概要

指標（「健康さっぽろ 21(第二次)」より）		施策方針
現状値	目標値※	
・受動喫煙の機会を有する人の割合 現状値なし	・行政機関 0% ・医療機関 0% ・職場 受動喫煙のない職場の実現 ・家庭 3% ・飲食店 15% (平成 34 年)	・受動喫煙防止
・妊婦の受動喫煙に配慮する人の割合 33.3%(平成 24 年) ・育児期間に受動喫煙に配慮する人の割合 34%(平成 24 年)	100% (平成 34 年)	
・未成年者の喫煙率 1.7%(平成 24 年)	0% (平成 34 年)	・未成年者対策
・成人の喫煙率 20.5% (平成 24 年)	10.0%(平成 34 年)	・禁煙支援

※目標値欄の ( ) 内は目標値達成に設定した時期

○ 取組の現状

(1) 受動喫煙防止

・さっぽろMU煙デー

「受動喫煙のない、空気のきれいな街」を目指し、毎月 3 日を「さっぽろMU煙デー」と定め、受動喫煙防止キャンペーンを実施している。



・受動喫煙防止対策を実施する施設の登録

禁煙・完全分煙の施設を「ここから健康づくり応援団」の禁煙・完全分煙施設として登録



・札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインの普及

市民・地域、企業や関係機関を対象としてガイドラインの普及に努めるとともに、パンフレット配布等による啓発・情報提供を行い、受動喫煙に対する正しい理解を促します。



(2) 未成年者対策

・思春期ヘルスケア事業

市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環としてたばこの害に関する正しい知識を含めた健康教育を実施している。

(3) 禁煙支援

・禁煙週間

各区保健センターでは、世界禁煙デーに始まる禁煙週間に、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及啓発事業を実施している。

・禁煙外来の普及啓発

札幌市のホームページにおいて禁煙外来実施医療機関を紹介（外部リンク）している。

・健康教育

各区保健センターでは、医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施している。

○ 札幌市の課題

・他政令市と比較して喫煙率が高い

○ 施策の方向性

【主な施策】

- 公共施設等での禁煙・分煙化の推進
- 受動喫煙のない職場の実現に向けた働きかけ
- 禁煙・完全分煙施設の提供
- 受動喫煙に関する正しい知識の普及・啓発
- 教育機関と連携し、未成年者に対してたばこの害に関する正しい知識の普及・啓発
- 禁煙希望者への支援
- 禁煙外来実施医療機関の情報提供

## 2 生活習慣の改善

### ○ 生活習慣の改善の概要

健康習慣	指標（「健康さっぽろ21(第二次)」より）		施策方針
	現状値	目標値※	
飲酒	・成人の多量飲酒者の割合 男性 4.1% 女性 1.2% (平成 24 年)	男性 3.4% 女性 1.0%(平成 34 年)	・食生活改善推進員等と連携した普及啓発
食生活	・野菜の1日あたり平均摂取量 293g(平成 23 年)	350g (平成 33 年)	
	・果物の1日あたり摂取量が100g未 満の人の割合 53.1%(平成 23 年)	30% (平成 33 年)	
運動	・食塩の1日あたり平均摂取量 9.5g(平成 23 年)	8g (平成 33 年)	・若い世代 (18～39 歳)の運 動習慣の 定着を図 る
	・運動習慣のある人(1回30分以上の 運動を週に2回、1年以上継続)の 割合 男性 28.1% 女性 28.4%(平成 24 年)	男性 38% 女性 38% (平成 34 年)	
適正体重	・20～60 歳代男性の肥満者の割合 25.3%(平成 24 年)	23% (平成 34 年)	
	・40～60 歳代女性の肥満者の割合 16.3%(平成 24 年)	14% (平成 34 年)	
	・20 歳代女性のやせの人の割合 20.2%(平成 24 年)	15% (平成 34 年)	

※目標値欄の（）内は目標値達成に設定した時期

### ○ 取組の現状

#### ・食生活改善推進員

食生活の地域改善活動推進の担い手である食のボランティアの食生活改善推進員を養成し、その活動を支援する。

#### ・食生活指針の啓発事業

「札幌市食生活指針」及びその具体的な取組を示した「札幌市食生活ガイド」の普及・啓発

#### ・ウォーキング推進関連事業

ウォーキングマップの作成や地下鉄駅階段へのメッセージ表示等による若い世代を中心とした運動啓発を実施。

#### ・健康教育

各区保健センターでは、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等が健康教育を実施している。

### ○ 札幌市の課題

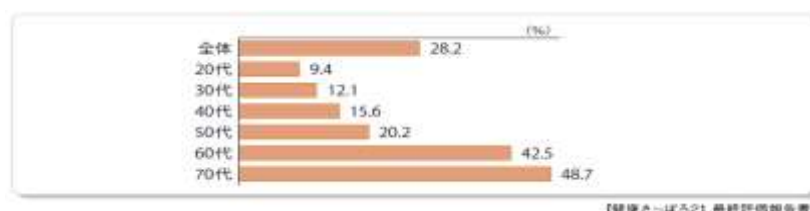
・若い世代の運動習慣のある人の割合が少ない

### ○ 施策の方向性

#### 【主な施策】

- 野菜・果物の摂取不足、過剰な塩分摂取改善に向けた取組について、食生活改善推進員等と連携した普及啓発を実施する。
- 若い世代(20 歳代・30 歳代)の運動習慣の定着を図る

#### 【運動習慣のある成人】



## 3 感染に起因するがんへの対策

### ○ 感染に起因するがんへの対策の概要

感染項目	「健康さっぽろ21(第二次)」関連事業より		施策方針
	現状値	目標値	
肝炎ウイルス	・肝炎ウイルス検査 41,189 人(平成 24 年)		・継続実施
ヘリコバクター・ピロリ			・普及啓発
HPV (ヒトパピローマウイルス)			
HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス-1型)	・妊婦一般健康診査のうち HTLV-1 検査の受診者 14,714 人(平成 25 年)		・母子感染予防

### ○ 取組の現状

#### ・肝炎ウイルス検査

札幌市に在住している方でこれまで肝炎ウイルス検査を受けたことのない方を対象に、委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施

#### ・妊婦一般健康診査 (HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス-1型) 抗体検査)

#### ・ピロリ菌除菌と胃がんをテーマとした地域住民セミナー

町内会等地域住民を対象とした医師による講演会の実施

#### ・ピロリ菌普及啓発ポスター

関係機関、札幌市内の中学校等に配布

### ○ 施策の方向性

#### 【主な施策】

- 肝炎ウイルス検査の実施とウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業（北海道実施事業）への適切な誘導
- ヘリコバクター・ピロリの除菌促進
- HTLV-1 検査の実施と母子感染予防

## 2 早期発見・早期治療

### 1 がん検診受診率の向上

#### ○ 概要

指標及び関連する事業 （「健康さっぽろ21(第二次)」より）		施策方針
現状値	目標値※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診受診率（指標） （H25 国民生活基礎調査）</li> <li>胃 男性 46.7% 女性 30.7%</li> <li>肺 男性 44.7% 女性 31.3%</li> <li>大腸 男性 40.4% 女性 30.7%</li> <li>子宮 42.7%</li> <li>乳 42.3%</li> </ul>	50% 胃・肺・大腸は当面 40% （平成 34 年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等と連携する等、幅広いチャンネルを活用した普及啓発</li> <li>職域でのがん検診の実態把握と受診率増加に向けた施策。</li> <li>がん検診を受診しやすい環境の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市がん検診受診率（事業） （H26 年度実績）</li> <li>【69歳まで】 【全対象者】</li> <li>胃 8.0% 6.9%</li> <li>肺 3.4% 2.9%</li> <li>大腸 16.0% 14.0%</li> <li>子宮 47.0% 34.0%</li> <li>乳 36.1% 23.8%</li> </ul>	50% 胃・肺・大腸は当面 40% （平成 34 年）	

※目標値欄の（）内は目標値達成に設定した時期

#### ○ 取組の現状

- 札幌市がん検診の実施
- 企業等と連携した普及啓発  
イベントの開催やパンフレットの作成等、企業等と連携したがん検診受診に向けた普及啓発を実施
- がん検診受診促進キャンペーン  
市民に「がんに関する正しい知識」を普及啓発し、がん検診受診率を向上させること、企業等と連携した普及啓発を実施するための環境整備を目的として、毎年10月を集中月間として定め、イベントの開催やテレビCMの放送等の普及啓発を行う。
- 未来を守ろうプロジェクト  
子宮頸がんの予防について啓発するため、3年計画で学生たちが参加するプロジェクト。学生たちのアイデアを取り入れた普及啓発用媒体（リーフレットや、DVD等）の作成と、作成したものを活用し、子宮頸がん検診受診等に向けた啓発活動を行う。

#### ○ 札幌市の課題

- 職域でのがん検診の実態が不明
- 全国と比較して女性特有のがんによる若い世代の死亡率が高い

#### ○ 施策の方向性

- 【主な施策】
- 企業等と連携する等、幅広いチャンネルを活用した普及啓発
  - 職域でのがん検診の実態把握と受診率増加に向けた施策
  - がん検診を受診しやすい環境の整備

## 2 効果的ながん検診の実施（精度管理）

#### ○ 概要

指標					施策方針
札幌市がん検診精度管理指標（H24 年度実績）					<ul style="list-style-type: none"> <li>精密検査受診率の向上</li> <li>検診実施医療機関等との精度管理に係る指標の実績値と目標値の情報共有</li> </ul>
胃がん検診					
項目	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応的中率	
目標	90%以上	11%以下	0.11%以上	1.0%以上	
実績	61.8%	7.0%	0.09%	1.4%	
肺がん検診					
項目	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応的中率	
目標	90%以上	3.0%以下	0.03%以上	1.3%以上	
実績	83.5%	2.0%	0.04%	2.1%	
大腸がん検診					
項目	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応的中率	
目標	90%以上	7.0%以下	0.13%以上	1.9%以上	
実績	46.8%	8.7%	0.18%	2.0%	
子宮がん検診					
項目	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応的中率	
目標	90%以上	1.4%以下	0.05%以上	4.0%以上	
実績	10.9%	3.4%	0.03%	1.0%	
乳がん検診					
項目	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応的中率	
目標	94%以上	11%以下	0.23%以上	2.5%以上	
実績	75.7%	5.3%	0.39%	7.4%	

#### ○ 取組の現状

- 要精密検査未受診者に対する受診勧奨事業（平成27年度から開始予定）  
札幌市がん検診を受診した者のうち、要精密検査と判定されたにも関わらず、精密検査結果が医療機関より札幌市に送付されていない者に対して、郵送により、受診勧奨とアンケートはがきを送付し、要精密検査者へ受診勧奨するとともに、受診状況を把握する。

#### ○ 札幌市の課題

- 精密検査受診率が低い
- 全国と比較して女性特有のがんによる若い世代の死亡率が高い（再掲）

#### ○ 施策の方向性

- 【主な施策】
- 検診実施医療機関との連携や個別勧奨等による精密検査受診率の向上
  - 検診実施医療機関等との精度管理に係る指標の実績値と目標値の情報共有

### 3 がん患者及びその家族等への支援

#### 1 相談支援体制の充実

##### ○ 概要

指標		施策方針
現状値	目標値	
・悩みや不安を相談する人や場所がすぐ見つかった人の割合（平成26年北海道委託事業から札幌市分抽出予定）	実績値から算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体等と連携したがん相談支援体制の充実</li> <li>がん相談支援センターの普及啓発</li> <li>ピアサポートの推進</li> </ul>
・がん相談支援センターの認知度（平成27年）	実績値から算出	

##### ○ 施策の方向性

###### 【主な施策】

- 患者団体等と連携したがん相談支援体制の充実
- がん相談支援センターの普及啓発
- ピアサポートの推進

#### 2 働く世代のがん患者への支援

##### ○ 概要

指標		施策方針
現状値	目標値	
・がん罹患後に定職を失う人の割合（平成26年北海道委託事業から札幌市分抽出予定）	実績値から算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者が働き方を選択できる社会に向け、企業等へ働きかける。</li> <li>就労等に関する相談支援体制の整備</li> </ul>
・職場はがんにかかっても働き続けられる職場だと思える人の割合（平成27年）	実績値から算出	

##### ○ 施策の方向性

###### 【主な施策】

- がん患者が希望に応じた働き方を選択できる社会に向け、企業等へ働きかける。
- 就労等に関する相談支援体制の整備

#### 3 がん医療体制の推進によるがん患者への支援

##### ○ 概要

指標		施策方針
現状値	目標値	
・緩和ケアについて正しい知識を持っている市民の割合（平成27年）	実績値から算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅における緩和ケア提供体制の推進</li> <li>緩和ケアについて市民の正しい理解を深める</li> <li>小児がん患者への支援</li> </ul>

##### ○ 取組の現状

- ・**高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業**（平成27年度から実施）  
住み慣れた地域で療養を望む高齢者等が「もれ」や「きれめ」なく医療サービスを受けることができるよう在宅医療体制の構築を目的とし、かかりつけ医や在宅医療の普及啓発のため、在宅医療を担う人材の育成や市民等への普及啓発を実施する。
- ・**小児慢性特定疾病医療費支給事業**（医療費助成・自立支援事業）  
小児がんなど高額な治療を長期にわたり継続しなければならない児童等への支援を実施

##### ○ 施策の方向性

###### 【主な施策】

- 在宅における緩和ケア提供体制の推進
- 緩和ケアについて市民の正しい理解を深める
- 小児がん患者への支援

### 4 がんに関する正しい知識の普及啓発

#### 普及啓発の手法

##### ○ 概要

指標		施策方針
現状値	目標値	
・がんは早期発見・早期治療の場合9割が治ることを知っている人の割合（H27調査）	実績値から算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等と連携する等、幅広いチャネルを活用した普及啓発</li> </ul>

##### ○ 取組の現状

- ・**企業等と連携した普及啓発**（再掲）  
イベントの開催やパンフレットの作成等、企業等と連携したがん検診受診に向けた普及啓発を実施

##### ○ 施策の方向性

###### 【主な施策】

- 企業等と連携する等、幅広いチャネルを活用した普及啓発

### 5 がん教育

#### 健康教育と学校等での教育

##### ○ 概要

指標		施策方針
現状値	目標値	
・未定	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育機関によるがん教育のための支援</li> <li>地域の人材（医療関係者、がん経験者等）の活用</li> </ul>

##### ○ 取組の現状

- ・**健康教育**（再掲）  
各区保健センターでは、医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施している。

##### ○ 施策の方向性

###### 【主な施策】

- 教育機関によるがん教育のための支援
- 地域の人材（医療関係者、がん経験者等）の活用